



PRESS RELEASE

新事業開発・アライアンス助成事業 第二号採択について

東経連ビジネスセンター※は、新事業開発・アライアンス助成事業における第二号の案件として、4件の採択を決定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

今回の案件審査では、東日本大震災からの復興支援も重視し、支援先を決定しております。

なお、支援申し込みは随時ホームページで受け付けており、次回の採択決定は12月の予定です。

※（社）東北経済連合会（以下「東経連」と記す）が本年4月に設立した東北地域の産学連携等の支援や、企業のマーケティング、知的財産等の事業化支援を行う支援センターです。

記

- ・テーマ：山廃酒母の蔵固有微生物を用いた地酒『磐城壽』の復活
- ・支援先：(株)鈴木酒造店(福島県双葉郡浪江町)、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

- ・テーマ：大堀相馬焼における代替材料の開発
- ・支援先：大堀相馬焼協同組合(福島県双葉郡浪江町)、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター

- ・テーマ：WC-SiC基超硬材料を用いた難削材加工用工具の開発
- ・支援先：秋田県産業技術センター、(株)東洋ドリル(秋田県雄勝郡羽後町)

- ・テーマ：光透過性及び不燃性及び安全性に優れた複合材の研究開発
- ・支援先：(株)宮城化成(宮城県栗原市)、(独)産業技術総合研究所

■リリースに関するお問い合わせ先

東経連ビジネスセンター 西山
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-9-10 セントレ東北11階
(社団法人 東北経済連合会 事務局内)
Tel. 022-225-8561 Fax. 022-262-7055
<http://tokeiren-bc.jp/>



(参考資料) 採択先の概要

- ・テーマ: 山廃酒母の蔵固有微生物を用いた地酒『磐城壽』の復活
- ・支援先: (株)鈴木酒造店(福島県双葉郡浪江町)、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
- ・内容: 浪江町に所在する(株)鈴木酒造店は、津波で酒蔵を失ったが、震災前に研究用として預けていた山廃酒母が、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターに残っていた。この山廃酒母には鈴木酒造店に住み着く蔵独自の酵母や乳酸菌が含まれているため、同センターの支援を受けてこれらの微生物を分離選抜することで、従来生産してきた地酒『磐城壽』の香味の再現に取り組む。

- ・テーマ: 大堀相馬焼における代替材料の開発
- ・支援先: 大堀相馬焼協同組合(福島県双葉郡浪江町)、福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター
- ・内容: 大堀相馬焼は、300年の伝統を持ち、20を超える窯元からなる陶磁器産地であるが、同産地は、福島第一原発の近隣に位置していたため、集積していた窯元の施設設備や敷地はもとより、地元でのみ採掘される秘伝の原料「砥山石(とやまいし)」も失った。そのため、大堀相馬焼協同組合と福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センターが協力し、原料の代替え技術の開発に取り組む。

- ・テーマ: WC-SiC 基超硬材料を用いた難削材加工用工具の開発
- ・支援先: 秋田県産業技術センター、(株)東洋ドリル(秋田県雄勝郡羽後町)
- ・内容: 秋田県産業技術センターが開発した強度・耐熱性・耐食性に優れた素材(WC-SiC 基超硬材料)を用い、自動車や航空機等の難削材加工用の工具の形状設計、工具の試作、加工実験を繰り返し行い、工具寿命が従来品の2倍以上となる超硬工具の開発を目指す。

- ・テーマ: 光透過性及び不燃性及び安全性に優れた複合材の研究開発
- ・支援先: (株)宮城化成(宮城県栗原市)、(独)産業技術総合研究所
- ・内容: 産業技術総合研究所が開発した粘土膜(クレースト)の特性である不燃性、ガスバリア性及び透明性と、宮城化成が持つ繊維強化プラスチックの特性及び成形技術を融合させ、光透過性及び不燃性及び軽量性に優れた新規複合材「不燃透明材」の開発を目指す。

■リリースに関するお問い合わせ先

東経連ビジネスセンター 西山
〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10 セントレ東北 11 階
(社団法人 東北経済連合会 事務局内)
Tel. 022-225-8561 Fax. 022-262-7055
<http://tokeiren-bc.jp/>